

卒業研究		演習	准教授 古川 慎太郎
科目カテゴリー	救急救命士コースの必修科目	科目ナンバリング	13130401

1. テーマ

救急医療，救急・救助，災害対応，その他救急救命士にかかわりのある幅広いテーマを取り扱う。

2. ゼミのねらい・概要

卒業研究を推進し，卒業論文に取りまとめる。加えて，救急救命士国家試験に向けた対策及び就職試験に向けた対策（主に，小論文対策・面接対策）を進める。

3. ゼミ計画

1. ガイダンス（授業の進め方）	16. 国家試験模試⑦（C問題：25問）
2. 卒論・就職に関する個別指導①（学生5～6名）	17. 国家試験模試⑧（D問題：25問）
3. 卒論・就職に関する個別指導②（学生5～6名）	18. 国家試験模試⑨（D問題：25問）
4. 卒論・就職に関する個別指導③（学生5～6名）	19. 卒論・就職に関する個別指導⑨（学生5～6名）
5. 卒論・就職に関する個別指導④（学生5～6名）	20. 卒論・就職に関する個別指導⑩（学生5～6名）
6. 国家試験模試①（A問題：60問）	21. 国家試験模試⑩（A問題：60問）
7. 国家試験模試②（A問題：60問）	22. 国家試験模試⑪（A問題：60問）
8. 国家試験模試③（B問題：60問）	23. 国家試験模試⑫（B問題：30問，C問題：10問）
9. 卒論・就職に関する個別指導⑤（学生5～6名）	24. 国家試験模試⑬（D問題：40問）
10. 卒論・就職に関する個別指導⑥（学生5～6名）	25. 卒論・就職に関する個別指導⑫（学生5～6名）
11. 卒論・就職に関する個別指導⑦（学生5～6名）	26. 卒論・就職に関する個別指導⑬（学生5～6名）
12. 卒論・就職に関する個別指導⑧（学生5～6名）	27. 国家試験模試⑭（A問題：60問）
13. 国家試験模試④（A問題：60問）	28. 国家試験模試⑮（A問題：60問）
14. 国家試験模試⑤（A問題：60問）	29. 国家試験模試⑯（B問題：30問，C問題：10問）
15. 国家試験模試⑥（B問題：60問）	30. 国家試験模試⑰（D問題：40問），総括

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

卒業研究の推進・卒論執筆に，週2時間程度を要する。また，国家試験に向けた学習に，相当の時間を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭や資料提示等により，個別または授業中の講義を通じて行う。

6. 授業における学修の到達目標

卒業研究・卒業論文執筆への取り組みを通じて，論理的思考，文章作成能力等を養う。また，就職試験（主に，小論文・面接試験）及び国家試験に向けて万全の準備を行う。

7. 成績評価の方法・基準

国家試験模試①～⑰の結果により成績評価を行う。

8. テキスト・参考文献

改訂第11版救急救命士標準テキスト

適宜指定する資料

救急救命士国家試験対策出題分野別国試問題・解説集A・B問題編（2025年版）（著：小関一英，晴れ書房）

救急救命士国家試験対策出題分野別国試問題・解説集C・D問題編（2025年版）（著：小関一英，晴れ書房）

9. 受講上の留意事項

3分の1以上を欠席した場合や，卒業論文を提出しない場合は不合格とする。また，国家試験模試④⑤⑥の合計得点率が55%未満の場合，国家試験模試⑦の合計得点率が70%未満の場合，国家試験模試⑧⑨の合計得点率が55%未満の場合，国家試験模試⑩⑪⑫⑬の合計得点が190点未満の場合，国家試験模試⑭⑮⑯⑰の合計得点が200点未満の場合は，不合格とする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は，公的機関等での実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。